

## 赤城山（黒檜山～駒ヶ岳）山行報告

- (山城) 赤城山  
(コース) 黒檜山～駒ヶ岳  
(日時) H28年2月19日(日帰り)  
(天候) 晴れ  
(参加者) CL小俣順子 鈴木憲二 鈴木愛子(記録)  
(山行タイム) 千葉4:00 ⇒ 前橋IC ⇒ 赤城道路 ⇒ 大沼駐車場8:10 登山開始→黒檜山登山口  
8:25→猫岩→黒檜山頂上10:00→展望台10:03着 10:40発→赤城神社奥宮→大ダ  
ルミ→駒ヶ岳頂上11:30→大沼駐車場12:10着 13:00発→16:00帰葉

### (山行報告)

準備運動をして8:10出発。15分道路を歩き、黒檜山登山口に到着。雪は少ない(10cm位)トレースもはっきりしている。最初から急坂の連続。歩き始めはアイゼンを付けず歩いたが、私と小俣さんは10分間位歩いた後、アイゼンを付ける。(夫は頂上まで付けなかった)雪が凍っていて、アイスバーン状の所もあり、安心して歩を進められた。



黒檜山登山口にて



黒檜山頂上にて

猫岩の所で、大沼でワカサギ釣りをしている人達の沢山のテント、地蔵岳等々が見え、綺麗であった。稜線に出、左に少し行くと、黒檜山頂上であった。2分先に展望台がある由、行ってみる。こちらの方が眺めが良い。燧ヶ岳、日光白根山、皇海山、男体山、雪がひときわ沢山ついて真っ白な谷川連峰、浅間山、富士山、筑波山等々が見え、眺望を楽しんだ。遠く、筑波山が雲海の上に浮かんで見えたのがとても綺麗であった。あまりにも展望が良く、35分もゆっくりしてしまった。



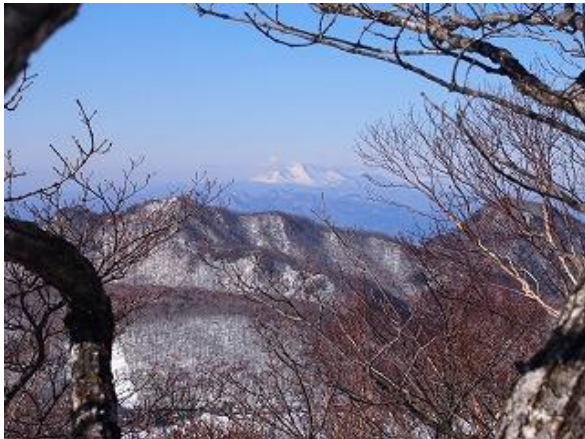
展望台にて(バックは谷川連峰)



展望台からの谷川連峰

その後、駒ヶ岳に向かう。このコースもトレースがしっかりしていた。急な下りをしばらく歩くと、ガイドブックに「鞍部に雪庇がある」と書いてあったが、張り出しが少ない雪庇があった。鞍部を過ぎ、大ダルミに着き、そこからひと登りした所が駒ヶ岳山頂であった。

富士山、地藏岳、筑波山、浅間山、麓の桐生市や伊勢崎の町、山の中腹に小沼等々が見え、きれいであった。ここから見えた浅間山の形は、湯の丸や黒斑山の方から見る浅間山とは山の形が全然違っていた。黒斑山の方から見える浅間山は丸みをおびているが、ここから見える浅間山は、ピラミダルで尾根筋もはっきり見え、格好が良かった。



駒ヶ岳からの浅間山



駒ヶ岳の頂上にて

駒ヶ岳頂上で会った毎週来ているという地元の人が「今年は、雪が少ない。今日の状態は、例年の3月末の頃の状態。もっと晴れると、槍穂高連峰、八ヶ岳も見える」と言っていた。今日はそれらの山は見えなかった。

駒ヶ岳頂上から15分位下ると、鉄の階段があり、雪がついている所とない所とあり、アイゼンを付けていて歩きにくかった。大沼の駐車場着 12:10。

それから大沼でワカサギ釣りをしようとしている人たちの所まで行ってみた。湖面はアイスバーン状で、ツルツルで怖かった。風も冷たく、早々に引き上げ、喜多方ラーメンを食べ、帰路について。

#### 【今回の山行を終えて】

天候に恵まれ、頂上から素晴らしい眺めを堪能でき、良い山行であった。

もう少し雪があることを期待し、ワカンも持参したが、小俣Lだけ持ち、私達は、車において行った。ワカンをつけてのスノーハイクの経験がないので、それがしたかったが、残念。

小俣さんにもらった赤城山のガイドコピーに、尾根道の本々の霧氷の写真が載っていて、とても綺麗であった。それが見られるかなと思ったが、全然霧氷はついていなかった。霧氷を見るには前日の天候や気温などチャンスを考えなければ、見られないのだなと思った。